

鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年2月検出分 検体採取 令和7年1,2月)

令和7年3月14日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体3件（検体採取1月下旬、2月上旬・中旬）について検査を実施したところ、A(H1)pdm09が3件から検出された。

表1 2024/2025 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A(H1)pdm09	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2024	9月3日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月14日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月15日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月27日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月2日	中部	2	2	0	0	0	0	
	12月3日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月9日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月16日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月18日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月19日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月20日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月20日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月23日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月24日	東部	1	1	0	0	0	0	
12月24日	中部	1	1	0	0	0	0		
2025	1月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月15日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月16日	中部	1	1	0	0	0	0	
	1月21日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月27日	西部	1	1	0	0	0	0	
	2月5日	西部	1	1	0	0	0	0	
	2月12日	西部	1	1	0	0	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2024/9/2～現在)			25	25	0	0	0	0	

国立感染症研究所の病原微生物検出情報（3月7日作成）によると、全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、2024/25 シーズンはA(H1)pdm09型が最も多く検出されており、次いでA(H3)型が検出されている。

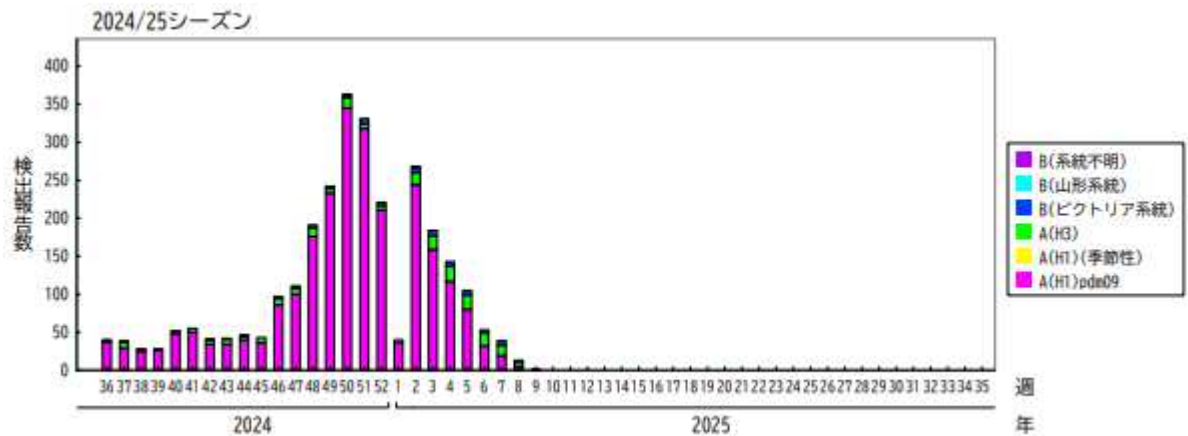


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2024/25 シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2025年3月7日作成）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の4件について検査を行ったところ、サポウイルスが2件検出された。他の2件からはノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）及びアストロウイルスいずれも検出されなかった。

3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎（疑）の1件について検査を行ったところ、アデノウイルスは検出されなかった。

4 急性出血性結膜炎

臨床診断名が急性出血性結膜炎の検体1件について検査を行ったところ、エンテロウイルスは検出されなかった。